

令和元年度評価（案）			平成30年度年次評価	
総合評価指標	評価（案）	備考	参考	
フォローアップ状況	現参加率	各ユニットセンターの規模を把握するための参考資料としてのみ活用する（評価は行わない）。	各ユニットセンターの規模を把握するための参考資料としてのみ活用する（評価は行わない）。	
	質問票回収状況（6ヶ月～6歳までの合計の質問票回収率）	回収数が〇〇%（平均）以上を◎とする。また、平成30年度、令和元年度と継続して回収率が0.5SD以上の場合は◎を加点する。	回収数が85.2%（平均）以上を◎とする。また、平成29年度、30年度継続して回収率が0.5SD以上の場合は◎を加点する。	
	質問票回収率の維持状況（6ヶ月回収率と6歳回収率の差）	差異ポイント17ポイント未満を◎とする。	差異ポイント17ポイント未満を◎とする。	
	質問票回収率の直近の改善状況（昨年度の回収率の傾向比較）	傾き差異がプラスの場合を◎とする。	傾き差異がプラスの場合を◎とする。	
エコチル調査に係る業務全般の取組状況	エコチル調査に係る業務全般に関する取組のPDCA評価	<p>PDCAの観点を踏まえ、特に優れたフォローアップに係る取組みを行っている場合を◎とする。＜PDCAの取組の視点＞</p> <p>①参加者の調査参加へのモチベーションの維持 ②質問票回収率の維持・向上 ③コミュニケーション活動（単純な広報活動とは別に、イベントへの参加人数、イベント参加者へのアンケート・ヒアリング結果やその対応状況等を総合的に評価） ④その他</p>	<p>①ユニットセンター同士で、お互いのPDCAの取組を読みその中から「良い取組」と思われる取組を5つあげる※。 ※自らのユニットセンター及び関連するセンター等（例えば、宮崎サブユニットセンターと沖縄サブユニットセンター同士）を除く取組の中から◎としてあげる。 ②①の集計結果を踏まえ、第2回評価にて、評価WG委員が「特に優れた取組PDCA」として◎をつけるユニットセンターを選定する</p>	<p>PDCAの観点を踏まえ、特に優れたフォローアップに係る取組みを行っている場合を◎とする。＜PDCAの取組の視点＞</p> <p>①参加者の調査参加へのモチベーションの維持 ②質問票回収率の維持・向上 ③コミュニケーション活動（参加者を含む調査地域でのリスクコミュニケーションを含む） ④その他</p>
エコチル調査の成果	学術論文等の発表	特に優れた学術論文や成果発表があった場合を◎とする。	<p>①ユニットセンター同士で、これまでに発表された論文について、論文数や論文の質等を総合的に評価し、「論文発表について優れたユニットセンター」を5つあげる※。 ※自らのユニットセンター及び関連するセンター等（例えば、宮崎サブユニットセンターと沖縄サブユニットセンター同士）を除くユニットセンターの中から◎としてあげる。 ②①の集計結果を踏まえ、第2回評価にて、評価WG委員が「論文発表について特に優れたユニットセンター」として◎をつけるユニットセンターを選定する</p>	
エコチル調査ルール遵守及び管理状況	成果発表ルール遵守状況 個人情報の管理状況	ルール違反等が確認された場合は、フォローアップ状況が良好であったとしても、総合評価においてS・A評価の対象としない。また、2回以上（年度をまたぐ場合を含む）同じ内容でルール違反を発生させた場合は総合評価をCとする。	ルール違反等が確認された場合は、フォローアップ状況が良好であったとしても、総合評価においてS・A評価の対象としない。また、2回以上（年度をまたぐ場合を含む）同じ内容でルール違反を発生させた場合は総合評価をCとする。	
総合評価の考え方		<p>S： ◎が5個以上あり、且つ、フォローアップ状況の◎が4個 A： ◎が3個以上ある（学術論文発表を除く） B： ◎が1個又は2個ある（学術論文発表を除く） C： ◎がない又は2回以上（年度をまたぐ場合も含む）同じルール違反がある</p> <p>※ 但し、ルール違反等があった場合は◎が3個以上の場合でもB以下となる</p>	<p>S： ◎が5個以上あり、且つ、PDCA評価が◎ A： ◎が3個以上ある B： ◎が1個又は2個ある C： ◎がない又は2回以上（年度をまたぐ場合も含む）同じルール違反がある</p> <p>※ 但し、ルール違反等があった場合は◎が3個以上の場合でもB以下となる</p>	